

## 兵庫子ども支援団体へのご支援のお願い

兵庫子ども支援団体の活動は皆さまからのご寄付によって支えられています。これからも子どもたちに学習の機会や安心して過ごすことができる居場所の提供、体験する機会の提供など様々な活動を届けるためには、活動資金が必要です。継続的な支援を届けるためにも、応援をお願いいたします。



月1,000円の寄付で、  
子ども1人を支えられます。



月5,000円の寄付で、  
子ども10人に体験活動を届けられます。

### 継続的に 寄付をする

月1,000円からの月額寄付で  
兵庫子ども支援団体の活動に  
ご参加いただけます。

WEB <https://campaign.hpcso.com/>



### 今回のみ 寄付をする

ご都合のよいときにご寄付いただけます。

WEB



<https://hpcso.com/donate>

銀行振込

三井住友銀行  
明石支店(店番号425)  
特定非営利活動法人兵庫子ども支援団体  
カナ名義:トクヒョウジトモエング'ソライ  
口座番号:普通 7066924

### その他

寄付型自動販売機の設置や物品寄付など様々な方法によって、  
支援していただけます。詳しくはホームページをご覧ください。



子どもが笑って過ごせる地域の形成をめざす  
NPO法人 兵庫子ども支援団体  
NPO Hyogo children supporting organization

特定非営利活動法人兵庫子ども支援団体  
〒673-0038 兵庫県明石市別所町8番11号  
Tel:050-5586-5448 / Fax:050-3488-0600 / Web:<https://hpcso.com>  
Twitter:@hpcso / Facebook:<https://www.facebook.com/hpcso>

子どもが笑って過ごせる地域の形成を目指す  
NPO法人兵庫子ども支援団体

[ 2019年度 年次報告 ]

# 2019 - 2020



## HPCSO Annual Report

兵庫子ども支援団体と子どもたちをご支援してくださっている皆さまへ  
感謝を込めて。

## 子どもの健全育成等に関する事業

2019年度は新たな子どもの居場所の開設や新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う緊急対策事業などを行いました。

### 食育ひろば ひなた

2019年度は7回実施し、延べ49人の子どもや地域住民に食事や居場所の提供を行いました。

「たべてまんであたたまる」をコンセプトに、調理の体験、食事の提供、遊びや学習の場づくりに取り組みました。



### ビーンズテラス

2019年8月から明舞団地(神戸市)にある「めいまいテラス」にて子どもの居場所を開設しています。毎週土曜日に活動を行なっています。



### 新型コロナウイルス緊急対策事業

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う学校園の臨時休校への緊急対策事業として、平日子どもたちが過ごせる居場所「こどもの居場所」を開設いたしました。

また、5月からは小学生から高校生までを対象としたLINE相談を試験的に開始いたしました。

2ヶ月で15名の方の登録があり、140回を超えるやりとりを行いました。

【受け付けた相談内容(一部)】

(中学生)

- ・学校生活に関する相談
- ・将来の夢に関する相談

(高校生)

- ・学習に関する相談
- ・大学受験や志望校に関する相談



## 学習支援に関する事業

学習支援[かがやき]や高校入試対策、オンラインを利用した学習支援などに取り組みました。

### 学習支援[かがやき]

2019年度は延べ260人の子どもたちに学習の機会を提供しました。また、延べ291人のチューターが子どもたちの支援に関わりました。

学習支援[かがやき]では、「総合的な生きる力」を育むことを目標にしています。様々な家庭環境の中で暮らす子どもたちに、学習だけでなく、体験活動やグループワークなどを提供しました。

また、2019年度は4名の中学3年生が在籍していました。

学力テストや面接指導、小論文指導など個々に合わせた支援を行い、全員が高校へ進学することができました。



### 「総合的な生きる力」とは？

子どもたちがこれからの社会を生き抜くためには、単なる知識だけでなく、思考力や表現力、探究心、コミュニケーション能力など幅広い力が必要になると考えています。私たちは、それらの幅広い力のことを「総合的な生きる力」と呼び、学習支援[かがやき]を通して、育むことを目指しています。

### オンライン学習支援

臨時休校に伴う学習サポートの一環として、オンラインによる学習支援を小学生から中学生までの8名の子どもに支援を提供しました。

#### 利用者の声

- ・楽しかった。
- ・分かりやすかったし、出来たときは褒めてくれて嬉しかったです。
- ・学校でまだ習ってない単元を習ってもしっかりと理解できました。
- ・ピンポイントで質問できてよかった。
- ・学校のワーク以外でも色々問題を解かせてもらえて、為になりました。
- ・授業は説明が多くて分かりやすかった。
- ・予習が出来たので学校の授業に大変有効だった。

#### 保護者の声

新型コロナで家族以外と接する機会がなくなり、会話も少なくなってきたことが、受講のきっかけでした。ちょっとした外出も人と会うことも嫌がっていた時期なので、オンラインはちょうどよかったです。また、普段接することのない、お兄さんやお姉さんのような先生と勉強できたこともいい経験になったと思います。

#### 保護者の声

オンラインでの学習はコミュニケーションが難しいのかな？と思っていましたが、教材も見やすい物を用意して下さり、意志疎通もうまくいったように思います。

## 情報発信に関する事業

### 子どもの居場所ボランティア講座

神戸市内の高等学校に通う高校生を対象にした「子ども居場所ボランティア講座」で講師を行いました。高校1年生から高校3年生まで計15名の高校生が参加し、1日目は「子どもの居場所」についての講義を、3日目は居場所体験後の振り返りを行いました。

高校生へのボランティア講座や子どもを取り巻く環境についての啓発イベントなどを行いました。



### 受講者の感想

自分の知らない環境を知ることができて良かったです。ボランティアとはどういったものなのか、今の子どもたちの現状はどういったものなのか、教えていただきました。また、大学に入っても、大学の学びとボランティアでの学びを結びつけられたら良いなと思っています。

### 総合的な探求の時間での授業

「兵庫子ども支援団体の活動内容や取り組み」について神戸市内の高等学校に通う1年生を対象に授業を行いました。



### 生徒の感想

日本にとって貧困はあまり重要視されていないと思っていたけれど、7人に1人も貧困の子どもがいると知って、驚きました。授業を受けて、「思うだけ」で終わるのではなく行動を起こすことが大事なんだと改めて思いました。自分も“人のために”という活動をしたいと感じました。

### Let's action～こわす・かいたく・すすむ～

子どもたちを取り巻く環境や問題について、広く知っていただくことを目的とした啓発イベントを行いました。イベントでは、映画の上映や兵庫県内で子ども食堂などの支援を行なっている団体の活動について話を聞き、その後、交流会を行いました。



## 2019年度 私たちの活動を応援してくださった皆さま

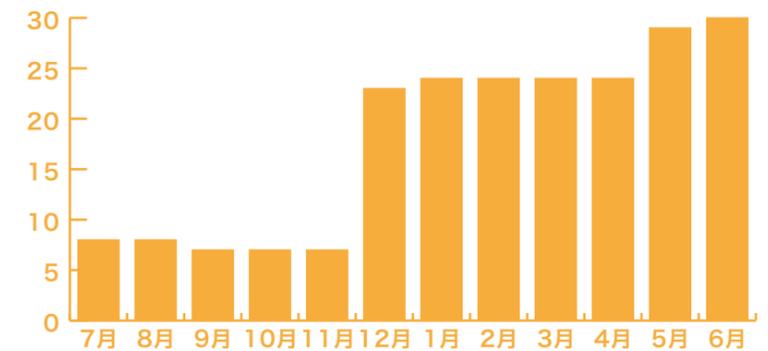
兵庫子ども支援団体が、地域の様々な子どもたちに学習支援や居場所、体験機会などを提供したり、新しい活動に取り組んだりすることが出来るのは、ご寄付いただいている方のおかげです。2019年度のサポーターの皆様をご紹介します。

のりママ様	まめこ様	上原勇樹様	松本学様	金澤英紀様
ただっち様	J.F.様	sin様	小林美智代様	片岡一樹様
細井菜穂様	さとみ様	川原田喬生様		
M's子どもプロジェクト様		あすなる住宅株式会社様		

### ● マンスリーサポーター (定額寄付者) 30名

2019年度は延べ270名の皆様にご支援いただきました。たくさんのご寄付をありがとうございます。

### マンスリーサポーターの推移



### ● 助成団体 (敬称略)

- ・一般財団法人あかし子ども財団
- ・公益財団法人ひょうごコミュニティ財団

### ● 寄付者の声

以前まで明石に住んでいました、シングルマザーです。まだ子どもが小さい頃、周りの方に本当にお世話になりながら子育てをしておりました。現在は市外に住んでおりますが、昨今の状況の中とても大変な思いをしている母子・父子家庭の子どもたちへ恩返しができればと思い少額ですが、寄付をさせていただきました。

子どもの居場所作りや学習支援、あらゆる活動に子どもたちへの純粋な思いやりを感じます。こんなに温かく、純粋な若者を応援したいと思いました。この温かさに触れながら、子どもたちが成長する姿を見守ってまいります。

「子ども食堂」として温かい食事や居場所、子どもたちへはもちろんその親たちにも安心を与え、学習支援や虐待防止活動、病気の子どもの支援を通じ、若い人たちが真剣に次世代にまで及ぶ地域社会を変えようとしていることに感動しました。地域の元気は子どもたちの笑顔からと考え、大したことは出来ないけれど、自身の出来る範囲で、地域の子どもの笑顔のために少しでもお役に立てればと思ひ参加させてもらっています。応援の輪が広がることを願います。



# 財務報告

2019年度(2019年7月1日~2020年6月30日)の決算は、NPO会計基準に則り確定しました。

兵庫子ども支援団体は、2016年10月に策定した特定非営利活動法人としての責務に基づき、透明かつ公正な事業・法人運営を行なっております。透明性の高い財務報告を正しく行うことで、ご支援者及び市民・県民の皆様への説明責任を果たすとともに、私たちが取り組む社会課題の解決のために、継続的かつ安定的な運営を行なってまいります。

科目	金額(単位:円)	
<b>【経常収益】</b>		
<b>【受取会費】</b>		
正会員受取会費	15,000	
<b>【受取寄付金】</b>		
受取寄付金	826,037	
<b>【受取助成金等】</b>		
受取助成金	188,157	
<b>【事業収益】</b>		
学習支援事業	83,700	
子どもの健全育成事業	1,900	
情報発信事業等	37,830	123,430
経常収益 計		1,152,624
<b>【経常費用】</b>		
<b>【事業費】</b>		
(人件費)		
人件費計	0	
(その他経費)		
材料費	26,182	
印刷製本費	8,139	
旅費交通費	117,120	
通信運搬費	560	
消耗品費	3,337	
新聞図書費	6,951	
水道光熱費	35,511	
地代家賃	450,000	
賃借料	3,950	
保険料	7,200	
支払手数料	6,133	
その他経費計	665,083	
事業費 計		665,083
<b>【管理費】</b>		
(人件費)		
人件費計	0	
(その他経費)		
印刷製本費	6,299	
旅費交通費	2,900	
通信運搬費	74,998	
消耗品費	25,820	
水道光熱費	11,837	
地代家賃	150,000	
支払手数料	50,560	
その他経費計	322,414	
管理費 計		322,414
経常費用 計		987,497
当期経常増減額		165,127
<b>【経常外収益】</b>		
経常外収益 計		0
<b>【経常外費用】</b>		
経常外費用 計		0
税引前当期正味財産増減額		165,127
法人税、住民税及び事業税		82,000
当期正味財産増減額		83,127
前期繰越正味財産額		△ 233,078
次期繰越正味財産額		△ 149,951

**受取寄付金**  
マンスリーサポーターの増加によって、昨年度から420,655円増収しています。

**受取助成金**  
ひょうごコミュニティ財団様、あかしこども財団様からの助成金となります。

**事業収益**  
昨年度から30,290円減収しています。学習支援事業の収益が下がりましたが、講演等を含む情報発信事業等による収益は増加しています。

**事業費-旅費交通費**  
昨年度から70,880円増額しています。事業に関わるボランティアが増加したほか、新規の取り組みを行なったことが影響しています。

**事業費-管理費-地代家賃-水道光熱費**  
地代家賃は通期で600,000円、水道光熱費は47,348円となっています。事務所兼活動拠点として利用しているため、費用を按分して計上しております。

**管理費-通信運搬費**  
昨年度から42,638円増額しています。ホームページサーバ関連費用や郵送料などが昨年度より増加したことが影響しています。

**管理費-支払手数料**  
昨年度から13,367円増額しています。寄付金の増加に伴い、決済代行会社に支払う手数料等が増えたことが影響しています。

**次期繰越正味財産額**  
前期に引き続き、2期連続の赤字決算となりました。次年度も事業収益の増加や支援者の増加に取り組むことで、黒字化を目指していきます。

この活動計算書は会計帳簿の記載金額と一致し、特定非営利活動法人兵庫子ども支援団体の収支を正しく示していることを認めます。

監事 上堀内 信一

※今年度はその他の事業を実施していません。

※紙面の都合上こちらには掲載できませんでしたが、貸借対照表は兵庫子ども支援団体のホームページにて開示しております。合わせてご覧くださいませ。

## 2020年度の兵庫子ども支援団体

### 切れ目のない支援の提供

これまで小学生から中学生までを対象とした学習支援や居場所づくりに取り組んできました。2020年度は小学生や中学生に加えて、高校生への支援の提供も開始し、高校卒業までの切れ目のない支援の提供を行なっていきます。

#### 高校生向けの学習支援の開始 -ハイスペース-

団体の取り組み「学習支援[かがやき]」に参加している子の中にも通信制高校へと進学する子どもがいます。通信制高校に進学した子どもの中には課題に取り組むことが難しかったり、人間関係の構築が難しかったりする子どもがいます。まず私たちは、通信制や定時制に通う子どもたちや何かしらの事情により高校に進学していなかったり、辞めてしまったりした子の高校入学・再入学の支援を行なっていきます。

#### 小学生から高校生までの悩み相談の受付 -Step Link-

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う、学校園の臨時休校からスタートしたLINEを利用した悩み相談の活動を正式にサービス提供します。学習や進学・就職、学校、生活など様々な悩みを抱えている子どもたちがいます。必要に応じて、外部の専門機関と連携するなどして、悩みを抱える子どもたちの未来へのステップに繋がる相談窓口にしていきます。

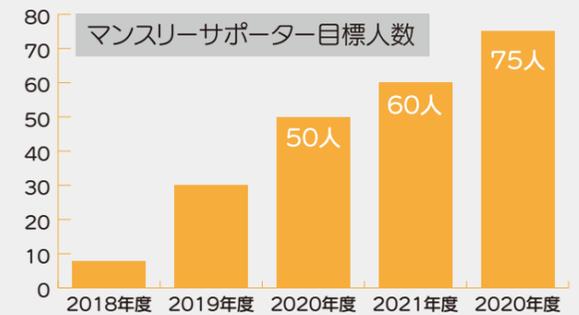
### 兵庫子ども支援団体3ヵ年計画 [2020-2022]

#### ① 兵庫子ども支援団体の活動に参画できる人を増やします

法人運営や経営に関わるスタッフ **2名**      マンスリーサポーター **75名**      寄付目標 **120万円**

#### ② 兵庫子ども支援団体が関わった子どもの数を増やします

団体の活動に参加した子ども(延べ人数) **1,000名**      単発イベント年間実施数 **5回**



#### 代表理事: 多田より

2期連続の赤字決算となってしまいましたが、2019年度はマンスリーファンディングの実施など支援者の拡大に注力した結果、30名の方がマンスリーサポーターになってくださいました。この支援の拡大があったため、新型コロナ関連の事業を円滑に実施することができました。

2020年度は小学生から高校生までの支援を行っていくことで、「切れ目のない支援の提供」を可能にしていき、事業収益の改善も同時に図っていきたくと考えています。また、今後3年間では、支援者の拡大に注力するとともに、私たちの活動についてシェア・拡散していただける方を増やしていくことによって、様々な形での仲間づくりに取り組んでいき、マンスリーサポーター75名を目標に財務の安定化を目指します。